

「観光レジリエンスサミット」開催記念

第3回観光危機管理ワークショップ×仙台防災枠組講座

～観光・宿泊事業の災害への備えを学ぶ～

日時 2024年 **10月3日(木)**
13:30 ~ 16:00

場所 TKPガーデンシティ
PREMIUM仙台西口
カンファレンスルーム7C

対象 仙台市内の
観光関連事業者、
観光関連団体 など

本年11月に仙台市において、観光分野の強靱性・回復力をテーマとした国際会議「観光レジリエンスサミット」が開催されることを記念し、観光業に携わる民間事業者様に向けた観光危機管理やBCPについて学ぶワークショップを開催いたします。

今回のワークショップは最終回となる第3回目です。是非、皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

お申込み方法

以下のURL、二次元コードよりお申込みください。

<https://www.shinsei.elg-front.jp/miyagi2/uketsuke/form.do?id=1724819865020>



申込〆切
9月30日(月)

プログラム

1. **主催者挨拶** (仙台市文化観光局観光レジリエンスサミット推進室)
2. **能登半島地震の経験と教訓**
(和倉温泉 多田屋 若女将 多田弥生氏)
能登半島地震の経験や課題、現在取り組まれていることなどをご紹介します。
3. **仙台防災枠組について**
(仙台市まちづくり政策局防災環境都市推進室)
4. **民間事業者の危機対策事例のご紹介**
(株式会社 丸和運輸機関)
災害時の対応を見据えた平時での取り組みや、BCP体制の整備などについてご紹介します。
5. **仙台市観光危機管理マニュアルについての意見交換**
6. **全3回のワークショップを通しての意見交換**

コーディネーター紹介

観光レジリエンス研究所

代表 高松 正人 氏



1982年、株式会社日本交通公社(現JTB)入社。株式会社ツーリズム・マーケティング研究所代表取締役社長、JTB総合研究所常務取締役を経て、2020年より現職。日本における観光危機管理の第一人者として国内外の観光危機管理や観光復興関係業務に数多く関わる。国連防災機関(UNDRR)の民間ネットワークARISEの日本代表。観光庁持続可能な観光推進事業アドバイザー、APTECサステナブルツーリズム委員等、持続可能な観光の推進にも携わる。

スピーカー紹介①

和倉温泉 多田屋

若女将 多田 弥生 氏



石川県の和倉温泉多田屋は明治18年(1885年)に創業、現在は温泉街から少し離れ、七尾湾に面した場所に位置する老舗温泉旅館。前職は看護師、2006年に千葉県から嫁ぎ、6代目若女将として活躍の様子はテレビ番組でも放映された。今年1月に能登半島地震に遭遇し、発災当日の状況やその後の対応、復興に向けた様々な取り組みの記録をnoteで発信している。

<https://note.com/wakaokamiyayoi/>

スピーカー紹介②

株式会社 丸和運輸機関

「桃太郎便」として運送事業をスタートして50余年、AZ-COM丸和グループは、“お客様第一義”の実践で挑戦・成長・貢献し続けてまいりました。現在は、「3PL&プラットフォームカンパニー」をコンセプトに掲げ、EC物流、低温食品物流、医療・医療物流のサードパーティ・ロジスティクス事業を核として事業を展開しております。加えて災害時のライフライン確保に貢献するBCP物流事業の強化・拡大にも注力し、社会インフラとしての強固な物流ネットワークの構築を目指しております。

【主催】仙台市 【後援】東北大学 災害科学国際研究所

【問合せ】仙台市文化観光局観光交流部 観光レジリエンスサミット推進室 022-214-8417 担当:丸藤、佐藤